



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省中国地方整備局

浜田河川国道事務所
出雲河川事務所
松江国道事務所
境港湾・空港整備事務所

令和 2年 3月31日

資料提供先:島根県政記者会

お知らせ

令和2年度 直轄事業（島根県分）予算概要

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

浜田河川国道事務所	河川関係:(河川)副所長 道路関係:(道路)副所長	おおもと 大元 やまもと 山本	0855-22-2480
出雲河川事務所	副所長	ほそだ 細田	0853-21-1850
松江国道事務所	道路関係:(改築)副所長 道路関係:(管理)副所長	やまむら 山村 まつもと 松本	0852-26-2131
境港湾・空港整備事務所 (浜田港出張所)	副所長	たかつ 高津	0855-24-7380

予 算 総 括 表

直轄事業(島根県分)

[単位:百万円]

事業別	項目		平成31年度(当初)	令和2年度(当初)	対前年度比 R2/H31
河 川	斐伊川	一 般 河 川 改 修 事 業	3,151	2,817	0.89
		河川工作物等応急対策事業費	-	30	-
		総合水系環境整備事業	417	493	1.18
	江の川	一 般 河 川 改 修 事 業	1,292	829	0.64
		土地利用一体型水防災事業	573	198	0.35
		河川工作物等応急対策事業費	27	45	1.67
	高津川	一 般 河 川 改 修 事 業	828	489	0.59
		河川工作物等応急対策事業費	132	-	-
	小 計			6,420	4,901
道 路	改 築		29,524	29,568	1.00
	交 通 安 全 事 業		1,365	1,263	0.93
	電 線 共 同 溝		688	570	0.83
小 計			31,577	31,401	0.99
港 湾	浜田港		1,366	1,328	0.97
小 計			1,366	1,328	0.97
合 計			39,363	37,630	0.96

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費等がある。

※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。

※上記予算の斐伊川分については、島根県・鳥取県分を含む。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

河川関係事業

1. 予算額

【金額単位：百万円】

事業費		平成31年度 (当初)	令和2年度 (当初)	対前年度比 R2/H31
斐伊川	一般河川改修事業	3,151	2,817	0.89
	河川工作物等応急対策事業費	-	30	-
	総合水系環境整備事業	417	493	1.18
	小計	3,568	3,340	0.94
江の川	一般河川改修事業	1,292	829	0.64
	土地利用一体型水防災事業	573	198	0.35
	河川工作物等応急対策事業費	27	45	1.67
	総合水系環境整備事業			-
小計	1,892	1,072	0.57	
高津川	一般河川改修事業	828	489	0.59
	河川工作物等応急対策事業費	132	-	-
	総合水系環境整備事業			-
	小計	960	489	0.51
合	計	6,420	4,901	0.76

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費等がある。

※上記予算の斐伊川分については、島根県・鳥取県分を含む。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

ひいかわ 斐伊川河川改修事業

事業費2,817百万円 **河-1**

※斐伊川水系全体

まつえ おおはしがわ
～「水の都松江」を水害から守る大橋川改修～

1. 事業の必要性及び概要

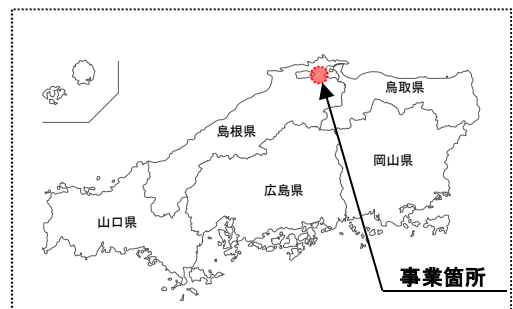
事業推進

大橋川は「水の都松江」を象徴する水辺景観を形成していますが、堤防が未整備の区間があるとともに、上下流の2箇所にて狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、松江市の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

このため、「水の都松江」を水害から守る大橋川改修」として堤防整備等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

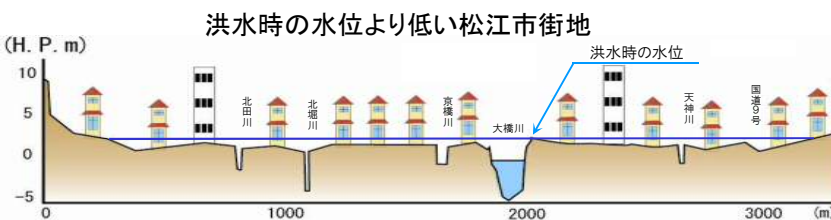
2. 事業箇所

ふくとみちよう ひがしちやまち
島根県松江市福富町～松江市東茶町地先



3. 令和2年度 予定事業内容

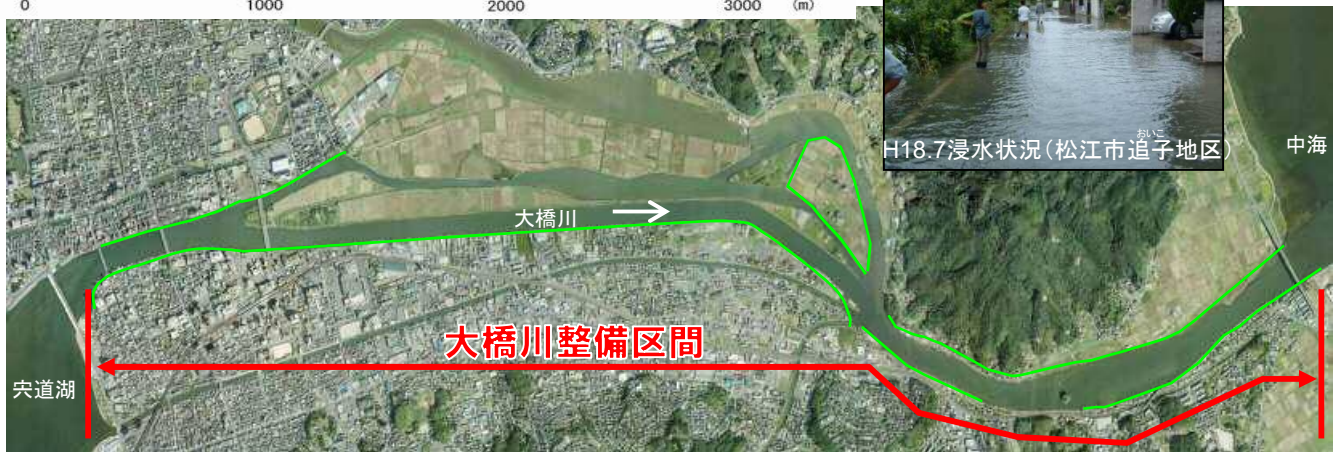
堤防整備等を実施します。



H18.7浸水状況 (JR松江駅周辺)



H18.7浸水状況 (松江市追子地区)



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害が防止されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

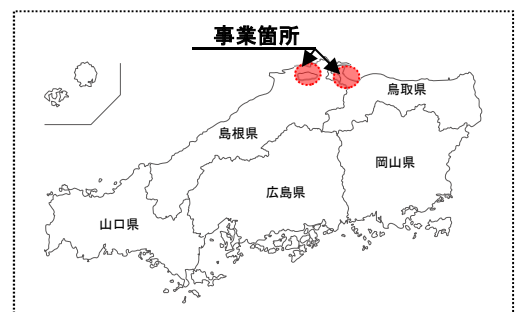
斐伊川水系中海・宍道湖の水質は、湖沼水質保全計画が策定された平成元年以降は流入負荷削減対策が進んでいるものの、環境基準が未達成であり、赤潮やアオコが発生するなどの課題があります。

このため、沿岸域において、浅場整備や覆砂を実施することにより、湖の自然浄化機能の回復を図り、透明度の向上や底質からの栄養塩(窒素・りん)の溶出抑制を図ります。

2. 事業箇所

中海：鳥取県米子市錦海地先、島根県安来市穂日島町地先

宍道湖：島根県松江市林村地先

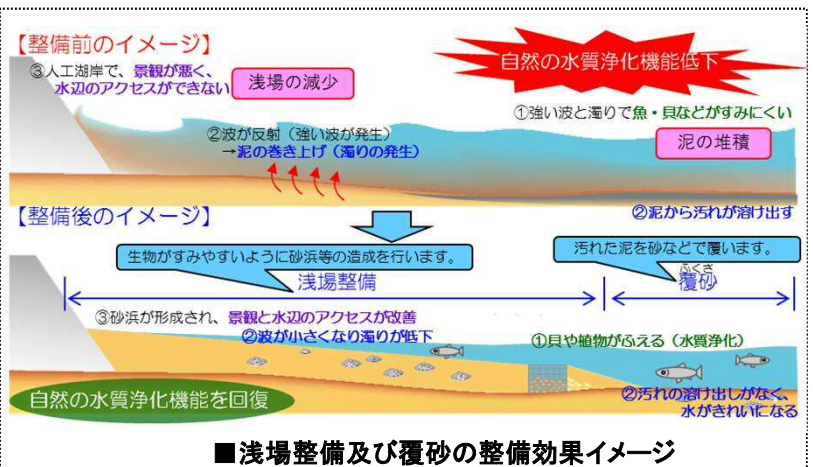


3. 令和2年度 予定事業内容

中海（米子湾）において覆砂を実施します。

宍道湖（林村地先）において浅場整備を実施します。

令和2年度 実施予定箇所



4. 期待される整備効果

浅場整備及び覆砂を実施することで、湖の自然浄化機能回復が図られ、透明度の向上や底質からの栄養塩(窒素・りん)の溶出が抑制されます。これらにより、湖の利用が多様化し、地域の活性化が図られるなどの効果も期待されます。

■現状



■整備後



完成予定

1. 事業の必要性及び概要

ごうつし かわひら

江津市川平地区は、堤防が未整備のため戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月洪水では地区の広範囲で家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年6月洪水、平成18年7月、平成30年7月豪雨で家屋浸水被害が発生しています。

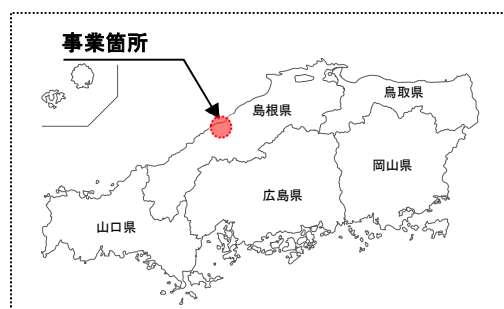
このため、「川平地区の土地を嵩上げて浸水を防ぐ事業」として、宅地等の嵩上げ等を実施し、地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県江津市川平地先

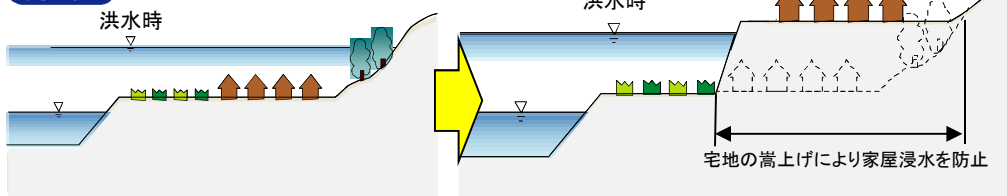
3. 令和2年度 予定事業内容

宅地等の嵩上げ等を実施します。



【土地利用一体型水防災事業のイメージ図】

現状



宅地嵩上げ整備箇所(松川橋付近)

4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害が防止されます。

1. 事業の必要性及び概要

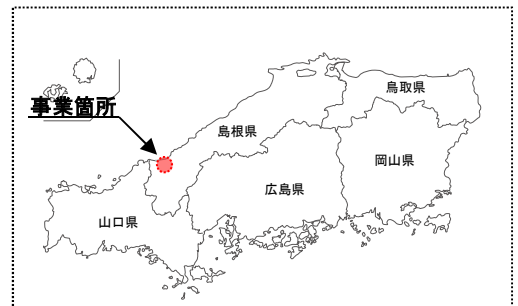
事業推進

ますだし
益田市中島地先においては、昭和47年7月に発生した戦後最大の洪水に対し、流下能力が不足しています。

このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「中島地先の河道掘削事業」として、河道掘削等を集中的に推進し、地域の安全性の向上を図ります。

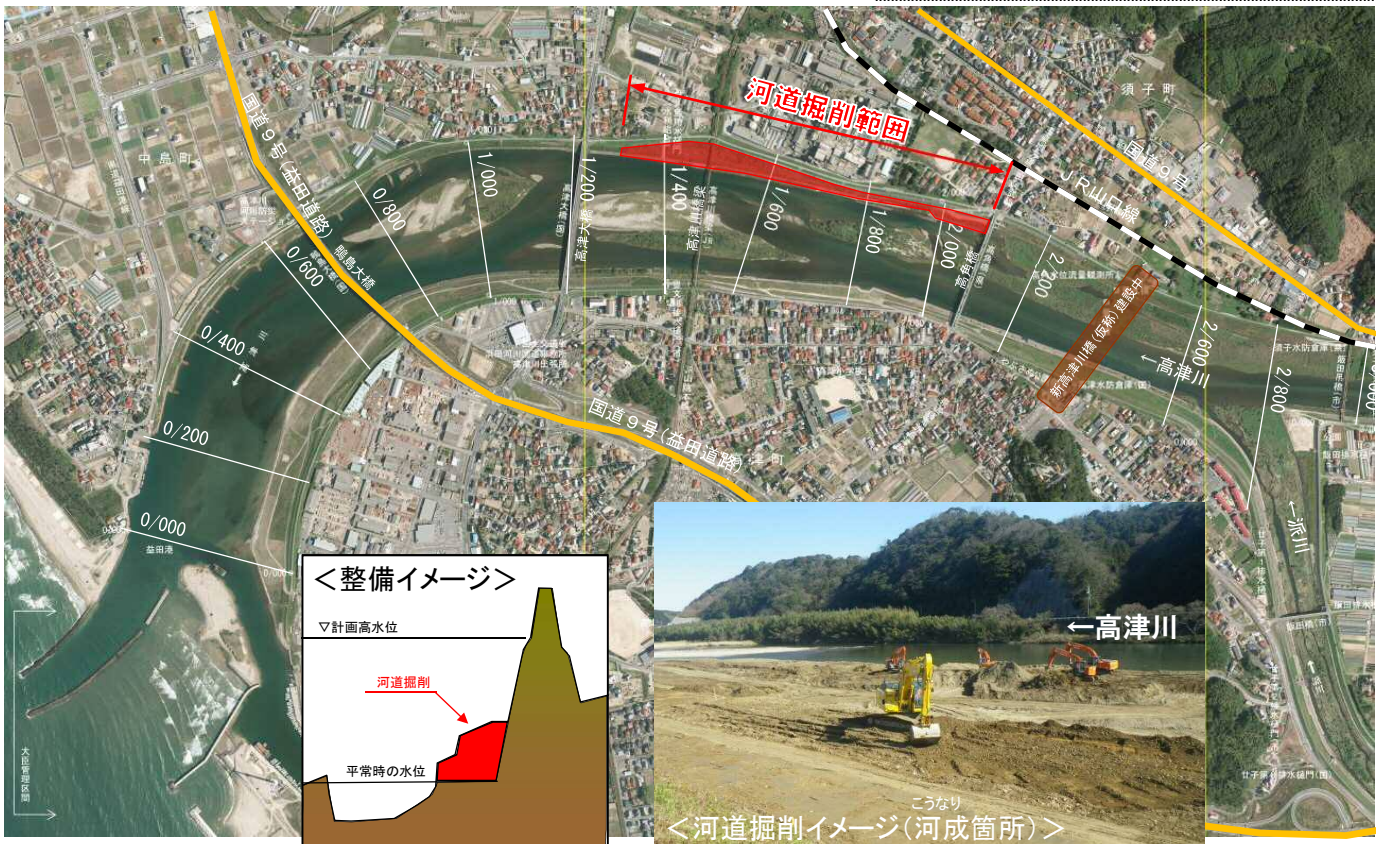
2. 事業箇所

島根県益田市中島地先



3. 令和2年度 予定事業内容

河道掘削等を実施します。



4. 期待される整備効果

河道掘削等を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水（戦後最大の洪水）が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害が防止されます。

道 路 関 係 事 業

令和2年度の道路事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業費	平成31年度 (当初)	令和2年度 (当初)	対前年度比 R2/H31
改 築	29,524	29,568	1.00
(うち 山 陰 道)	29,434	29,467	1.00
交 通 安 全 事 業	1,365	1,263	0.93
電 線 共 同 溝	688	570	0.83
合 計	31,577	31,401	0.99

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。
 ※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。
 ※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

【松江国道事務所事業】

令和2年度の道路事業費(松江国道事務所)

[単位:百万円]

事業費	平成31年度 (当初)	令和2年度 (当初)	対前年度比 R2/H31
改 築	22,204	19,658	0.89
(うち山陰道)	22,114	19,557	0.88
出雲・湖陵道路	4,447	4,450	1.00
湖陵・多伎道路	3,830	4,249	1.11
多伎・朝山道路	875	-	-
大田・静間道路	4,414	5,441	1.23
静間・仁摩道路	8,548	5,417	0.63
三刀屋拡幅	90	101	1.12
交通安全事業	708	663	0.94
電線共同溝	458	340	0.74
合 計	23,370	20,661	0.88

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。

※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

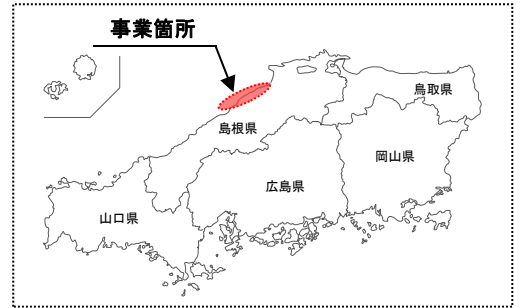
山陰道 出雲～仁摩間は、島根県の東西の連絡性の強化、災害地の代替路の確保、現道の急カーブや急勾配箇所の回避等を目的とした延長37.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県出雲市知井宮町～島根県大田市仁摩町大國

3. 令和2年度 予定事業内容

令和5・6年度の開通に向けて、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。



※ トンネル工事・大規模橋梁工事・大規模法面対策工事等が順調に進捗した場合



写真③ 静間・仁摩道路 大國高架橋(仮称)付近の工事状況



写真② 大田・静間道路 久手高架橋(仮称)付近の工事の様子



写真① 出雲・湖陵道路 常楽寺第2高架橋(仮称)付近の工事の様子

4. 期待される整備効果

■ 災害時等の代替路線の確保

国道9号(大田～仁摩間)では事故による通行止めが平均2.1回/年発生しており、著しい渋滞や迂回により生活や物流活動に支障をきたしています。

通行止め時には大幅な迂回が必要となり、通常時の約1.7倍の時間がかかります。(約14分→約24分)

広域なネットワークを担う山陰道の整備により、災害発生時の避難・救援ルートが確保が期待されます。

事故状況(大田市静間町地内) H30年3月



至 浜田

一般国道9号 なかのちょう ひめばら 中野町・姫原地区事故対策

道-2

事業費15百万円

新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、出雲市中心部で沿線には商業施設や住宅等が立地し交通量が非常に多いものの、2車線道路のうえ信号交差点が連続していることから滞留した車両への追突事故が発生し危険な状況となっています。

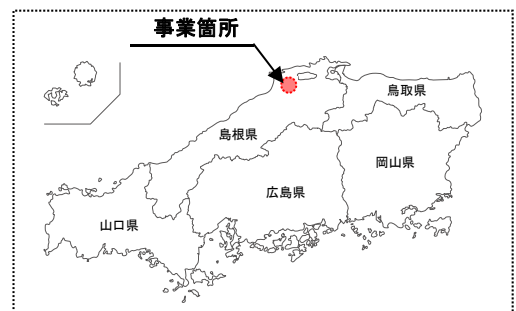
なかのちょう ひめばら 中野町・姫原地区事故対策は、安全・安心な道路空間の確保を図るために、付加車線の設置を行うものです。

2. 事業箇所

いずも なかのちょう いずも ひめばら
島根県出雲市中野町～島根県出雲市姫原

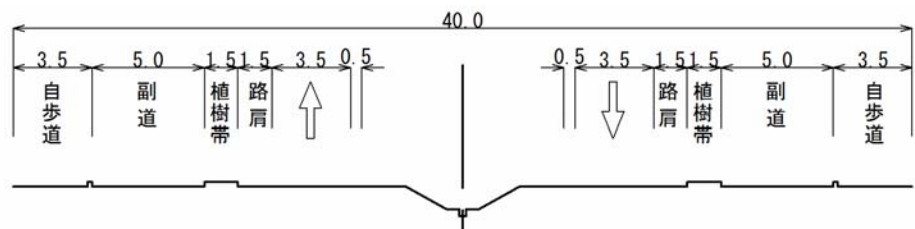
3. 令和2年度 予定事業内容

調査設計に着手します。

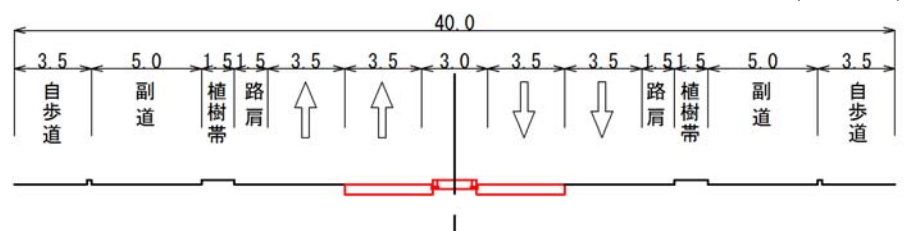


写真① 滞留車両の状況

【現況断面】



【計画断面】



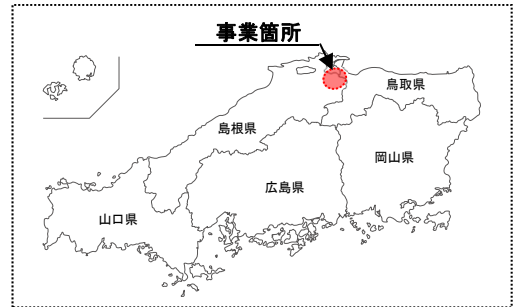
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

やすぎ
安来電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

やすぎ やすぎちょう やすぎ はしま ちょう
島根県安来市安来町～島根県安来市飯島町



3. 令和2年度 予定事業内容

本体工事を推進します。

平面図

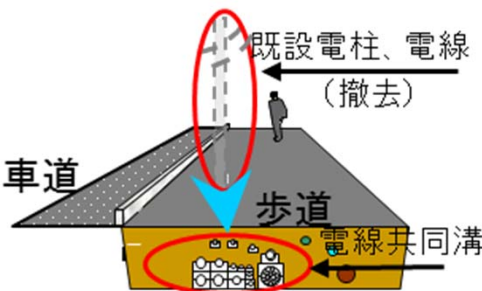


現況写真



(4. 期待される整備効果)

《イメージ図》



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>



<飛来物による電柱倒壊の事例>



<歩行の支障となる電柱の事例>

【浜田河川国道事務所事業】

令和2年度の道路事業費(浜田河川国道事務所)

[単位:百万円]

事業費	平成31年度 (当初)	令和2年度 (当初)	対前年度比 R2/H31
改 築	7,320	9,910	1.35
(うち 山 陰 道)	7,320	9,910	1.35
三 隅 ・ 益 田 道 路	6,560	7,617	1.16
福 光 ・ 浅 利 道 路	760	2,243	2.95
益 田 西 道 路	-	50	-
交 通 安 全 事 業	657	600	0.91
電 線 共 同 溝	230	230	1.00
合 計	8,207	10,740	1.31

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。

※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 三隅・益田道路は浜田～益田間における災害時の代替路の確保及び広域的な交流連携を目的とした、延長15.2kmの自動車専用道路です。

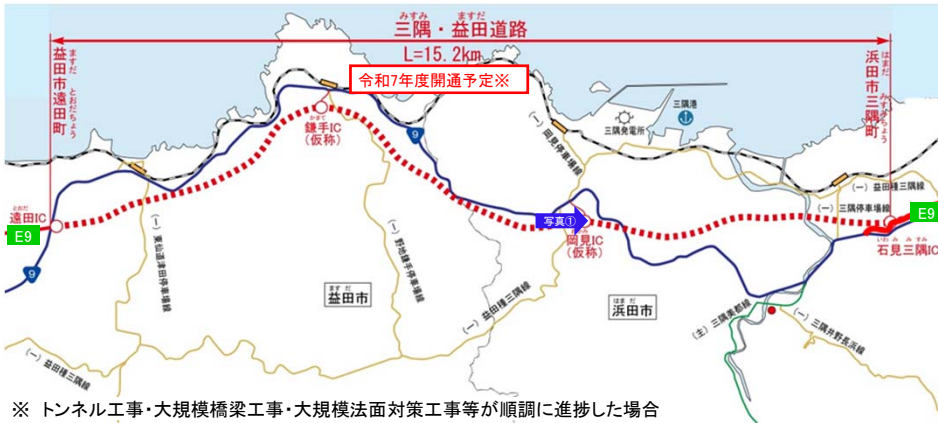
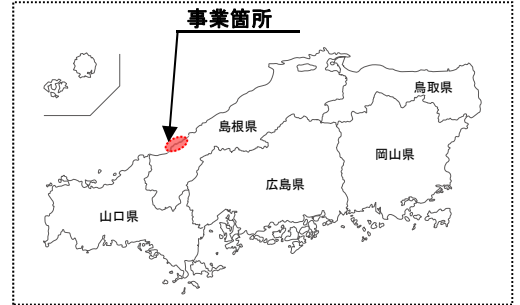
事業推進

2. 事業箇所

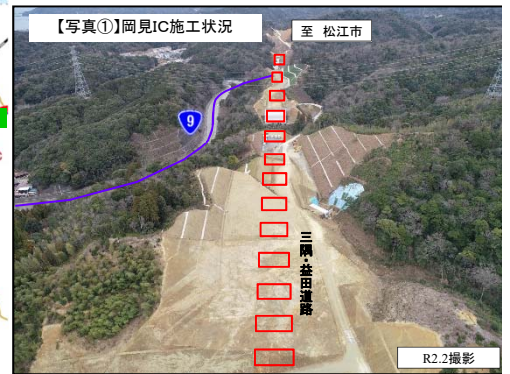
島根県浜田市三隅町～島根県益田市遠田町

3. 令和2年度 予定事業内容

令和7年度の開通に向けて、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。



※ トンネル工事・大規模橋梁工事・大規模法面対策工事等が順調に進捗した場合

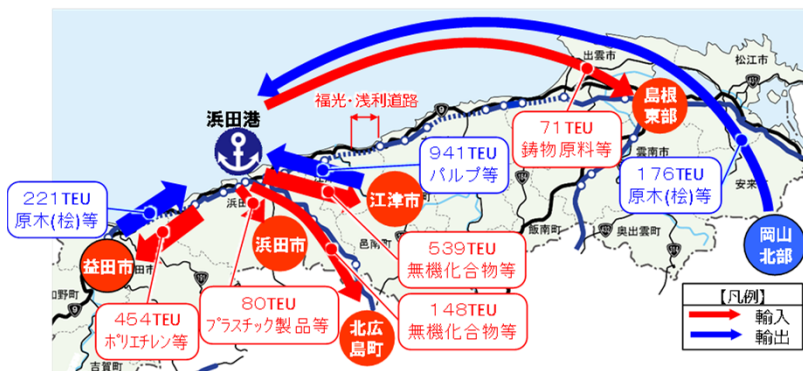


4. 期待される整備効果

■ 地域産業の支援

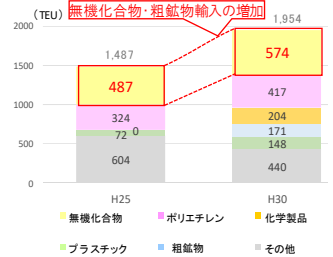
- 島根県唯一の国際貿易港である浜田港の機能強化(臨港道路の開通、ガントリークレーンの運用開始など)により、浜田港を拠点とした活発な企業活動が行われています。
- 三隅・益田道路の整備により、益田方面の輸送効率が向上することで更なる地域産業の活性化が期待されます。

▼浜田港国際コンテナ貨物の主な輸送先(H30)



資料:浜田港振興会提供

▼輸入コンテナ品目別内訳



▼浜田港の近年の変遷

- H29年度 定期コンテナ船(浜田～釜山)の大型化
- H29年度 浜田港港務計画改訂
- H29年度 福井地区臨港道路供用
- H30年度 ガントリークレーン運用開始
- H30年度 大型定期コンテナ船就航2便化(浜田～釜山)

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 益田西道路は災害時の代替路の確保及び物流の効率化を図り、地域の活性化を支援することを目的とした、延長9.1kmの自動車専用道路です。

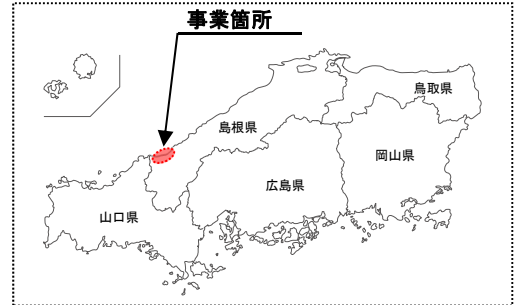
新規事業化

2. 事業箇所

島根県益田市戸田町～島根県益田市飯田町

3. 令和2年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



【高津IC付近の渋滞状況】



【昭和47年水害の氾濫区域】



4. 期待される整備効果

○主要な産業拠点である石見臨空ファクトリーパークへのアクセスが向上することで、新たな企業の進出や既存企業の事業拡大などの産業の活性化を支援

【高津IC交差点～石見臨空ファクトリーパークにおける所要時間】 現況13分～整備後7分短縮

(約6分短縮)

【萩市田万川総合支所～石見臨空ファクトリーパークにおける所要時間】 現況19分～整備後16分短縮

(約3分短縮)

※H27全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より。
現況：現道利用ルート 整備後：益田西道路利用ルート (対象区間は設計速度80kmで算出)



物流ルート状況



石見臨空ファクトリーパークの状況

港 灣 關 係 事 業

令和2年度の港湾事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業別	港名	平成31年度 (当初)	令和2年度 (当初)	対前年度比
港湾	浜田港	1,366	1,328	0.97
	合計	1,366	1,328	0.97

① 浜田港防波堤(新北)整備事業

事業費928百万円

② 浜田港港湾施設の老朽化対策事業

事業費400百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

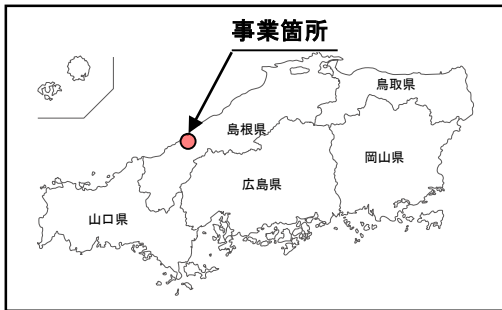
- ① 浜田港は、セメント、原木、石炭等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、国際物流ターミナルでの安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。このため、福井地区において防波堤の整備を推進します。
- ② 多様な港湾利用に支障が生じないよう、港湾施設の老朽化対策を推進します。

2. 事業箇所

はまだ
島根県浜田市

3. 令和2年度 予定事業内容

- ①防波堤(新北)の本体工事等を推進します。
- ②岸壁(水深12m)の老朽化したコンクリート舗装を補修します。



4. 期待される整備効果

- ①本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。
- ②本事業により、既設港湾施設の延命化及び維持管理コストの低減が図られます。